

ふるさと歴史散歩 129
～松前史談会レポート～

護国神社へ行ってみよう I

護国神社へお参りしたことがあるだろうか？ 今回、松前史談会は、「作兵衛さんつながり」で護国神社へ参詣した。松前の義農神社や八幡神社では、作兵衛さんは「瑞穂建功命」のご神号で祀られているのに、護国神社では、「義農作兵衛命」として合祀されているのだ。どんな理由があったのだろうか？

嘉永6(1853)年、ペリーが浦賀に来航したのをきっかけに、日本は幕末の動乱に突入し、以後多くの人々が国事に命を失った。その人たちの魂を祭る招魂祭が東京と京都で行われ、明治2(1869)年に東京に招魂社が造営された(明治12年に靖国神社と改称)。

愛媛県でも明治32年に道後村持田に社殿を造営し、大正2年には新立町に移転し愛媛招魂社とした。その後、昭和14年の内務省令により現在地に遷座し、愛媛県護国神社と改称している。

戦後、連合軍総司令部(GHQ)より「神道指令」が出され、社号を御幸神社と変更(昭和27年に護国神社に戻す)。昭和22年には、特別祭神「産業のために尽くし世の師表と仰がるべき者」として、義農作兵衛命、下見吉十郎命、菊屋新助命、鍵谷力ナ命などを合祀することとなった。文化面では、正岡子規命の名も見える。

次号では、境内にある「なんじゃもんじゃ」や「一草庵」について紹介する。

- 1 護国神社前
地元の人は神社正面の川を「大川」、奥の山を「みきじさん」と呼ぶ
- 2 万葉植物園にて
「松前界限はええとこぞなもし」の著者、山野芳幸先生にばったり



2月のふるさと歴史散歩は、休みます。

◎ 松前史談会(鷺野) ☎ 984-5439

Boys&Girls,Be Ambitious!
頑張る子どもたちを紹介します



兄弟で家の農業を手伝う

加藤 彰希くん 裕哉くん
Kato Syoki Yuya
北伊予小 5年・2年 中川原

北伊予小学校5年生の加藤彰希くんと2年生の裕哉くん。兄弟そろって家の農業の手伝いを頑張っています。

「小学校に入ってから農業を手伝うようになりました」と話す彰希くん。畝の土を寄せたり、コンバインでは対応できない部分の稲を刈ったりします。「重いものを持っているところを見ると頑張っているなと思います」と彰希くんが話すように、裕哉くんも小さな体で奮闘します。

「一つ一つの作業を頑張らないと、上手く育たないから大変」と、手伝う中で農業の大変さを感じている彰希くん。でも、その分苦労して作った米や野菜は、「どんな感じでおいしくなっていたかが分かるから、おいしい」と話します。その中でも、裕哉くんは「鍋で食べたらおいしい白菜」、彰希くんは「他の食べ物とよく合うお米」が大好きです。

「まだ、どんな野菜かは考えていないけれど、自分で野菜を作りたい」と話す彰希くん。その傍らで、裕哉くんもうなずきます。2人の心が込められた野菜を、町内でおいしく食べられるようになる日がくることが、今から楽しみです。

1歳です。よろしくね

いざき りくと
猪崎 陸斗くん
筒井
平成27年2月3日生
(父) 重人さん(母) 侑さん
元気にすくすく育ってね♡



4月に1歳になるお子さん募集

背景が明るい横長の写真(デジタルデータも可。USB不可)を持参してください。
*先着6人です。
募集期間 2月1日④～2月29日④
▶総務課広報情報係 ☎ 985-4132

おうちで給食

84 鶏肉と野菜の味噌がらめ



【エネルギー 295kcal(1人あたり)】

●材料● (4人分)

A	鶏もも肉	250g	B	こんにゃく	85g
	酒	小さじ2/3		さやいんげん	15g
	濃口しょう油	小さじ2弱		油	大さじ1/2
	片栗粉	大さじ2		みりん	大さじ1
	揚げ油	適量		味噌	大さじ1弱
	ごぼう	50g		砂糖	大さじ1・1/3
	れんこん	50g		濃口しょう油	小さじ1
	ニンジン	75g			

Point 食物繊維の多い野菜がたっぷりで、しっかりかめるメニューです。鶏の唐揚げとの組み合わせと、ほんのり甘い味噌味で、子どもたちにも人気のメニューです。

●作り方●

- 1 鶏肉は一口大に切り、Aで下味をつけ、片栗粉をまぶして揚げ油で揚げる。
- 2 ごぼうはささがき、れんこんは薄切りにして、それぞれ水につけておく。
- 3 ニンジン、こんにゃくは短冊切りにする。
- 4 さやいんげんは斜め切りにし、さっとゆでておく。
- 5 フライパンに油を熱し、ごぼう、れんこん、ニンジンを炒め、全体に火が通ったらこんにゃくを入れ、Bの調味料を加えて煮る。
- 6 1の鶏肉と4のさやいんげんを加え、軽く火を通したら、できあがり。